

あいち境界シンポジウム報告

あいち境界シンポジウム実行委員長 中島 健太



令和2年1月23日(木)「第20回あいち境界シンポジウム～ 未来のみちを考える～」を開催しました。

当日は、朝早くから実行委員会を中心に、愛知会役員、公囀協会、政治連盟などの各団体に協力していただきながら、会場準備から始めました。

第1部講演1は、国土交通省土地・建設産業局企画課長 安岡義敏氏に「地域福利増進事業の現状について」と題し、講演していただきました。講演2は、土地家屋調査士であり、参議院議員の豊田俊郎氏に「減災への扉」と題し、狭あい道路問題について講演していただきました。講演をしていただいた両名は、通常国会の会期中であり、大変多忙にもかかわらず出演していただきました。

第2部パネルディスカッションは、第1部出演の豊田氏、安岡氏に加え、名古屋市会議員 横井利明氏、岡崎市建築部次長 鈴木広行氏、株式会社首都圏総合計画研究所 代表取締役 井上隆氏の5名のパネリストによる所有者不明、狭あい道路問題に対する知見を話していただきました。

今回のシンポジウムは、昨年8月から実行委員会が招集され、開催に向け作り上げてきました。参加人数が多ければ成功というわけではないと思いますが、全体で500名を超える方に会場いただきました。詳細は、土地家屋調査士関係者287名(内他会会員95名)、官公署等職員136名、議員関係者58名、一般参加22名です。

これも出演者の方や、開催に携わっていただいた皆様のおかげだと思います。ご協力いただき、ありがとうございました。



中島委員長と愛知会マスコットキャラクターきょうかい君とあいちゃん